

# 令和6年度 上田市立清明小学校 自己評価シート

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)		総合評価						
「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの育成」  ・心も体もたくましい子ども ・自分や友だちを大切に できる子ども ・自ら学ぶ子ども		①自主:豊かなかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて 自らたくましく行動できる子ども ②豊かさ:お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切 にして、共に学習や生活を楽しむことができる子ども ③学び:自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎからめ合いながら追究し、学び の楽しさや高まりを実感できる子ども								
		今年度の重点目標		成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策
		1	一人ひとりの個性を生かし、多様性を包み込む学級・学校づくり (自主・豊かさ)							
2	「学びの主体者」としての子どもを育てる「ふるさと学習」の充実 (学び)									
対象	評価項目	評価の観点		成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	
重点目標	1 自主	「ふるさと学習」の推進	「ひと・もの・こと」と関わったり、実際に体験したりする活動を仕組むことができた。							
		児童会活動、係活動、靴揃えなどへの取り組みと成功体験の累積	子どもたちが、気づき、考え、自ら行動するような場を仕組むことができた。  様々な活動に、それぞれが取り組めるよう促し、個々の頑張りを認め励ました。							
	2 豊かさ	人権同和教育の日常化	互いに認め合い、共に学び合うよさを感じられる活動を仕組むことができた。							
		挨拶の充実と 思いやりの心の育成	挨拶や温かい言葉を大事にした生活指導や授業を行った。							
		話し合い活動の充実	子どもたちが一人で考えたり、互いの意見を共有したりする場を設け、自信を持って表現できるよう支援した。							
	3 学び	学習習慣の形成	腰骨をたて、目・耳・心を使って話を聞き合う、学習に向かう姿勢を意識した指導を行った。							
		学習課題や学びの共有	子どもの言葉で課題を位置づけ、話し合う活動や考えを共有する場を設けて、学習の成果を実感できる授業を行った。							
		探究的な学びの場	「ふるさと学習」(神樹の時間)では、子どもたちが発見し、実際に体験したり、粘り強く追究したりして、学びにのめり込むような場を設定した。							

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった